

平成 2 9 年 度

財政援助団体等に対する監査結果報告書

高 砂 市 監 査 委 員

第1 監査の種類

地方自治法第199条第7項の規定に基づく財政援助団体等に対する監査

第2 監査の実施期日及び監査の対象

監査実施日 平成31年2月1日

監査の対象 株式会社五輪（高砂市立斎場指定管理者）

第3 監査の範囲

平成29年度における出納その他の事務の執行について監査を実施した。なお、対象における施設の監査も併せて行った。

第4 監査の方法

今回の監査は、主に、予算の執行、収入、支出、契約等の事務の執行が、適正かつ効率的に行われているか、また所管の事務の執行が合理的かつ効率的に行われているか、法令等の定めるところに従って適正に行われているかなどを主眼とし、次のとおり実施した。

対象団体の経営状況に関する資料（事業報告書、収支報告書等）について、関係職員から説明を聴取し、質疑を行い、財務関係資料、関係帳簿及び証拠書類等の関係書類の検査を行った。

第5 監査の結果

監査の結果、一部において検討すべき事項が見受けられたが、予算の執行、収入、支出等についてはおおむね良好に処理がされていると認められた。監査時に気づいた事項についてはその都度口頭で指示したところである。

株式会社五輪は、指定管理者として平成29年度から平成33年度までの5年間で基本協定による協定期間として、高砂市立斎場の管理及び運営を行っている（前回の平成24年度から平成28年度の指定管理業務の実施に引き続き指定管理業務を実施）。平成29年度の年度協定書による指定管理料は58,585,000円であり、修繕費は1,800,000円としているが、修繕費の余剰金として1,472円が返還されている。施設の維持修繕については、1件当たりの設計金額が50万円未満は、指定管理料の範囲内で行うこととし、1件50万円以上のものについては高砂市と協議のうえ実施することとしている。

平成29年度の開場日数は、休場日である年始の2日間を除き363日であり、開場時間は午前8時30分から午後5時15分までとなっている。開場日のうち平日（友引以外）の日数は303日、延べ勤務人員は1,544人（一日平均5.1人）であり、友引の日数は60日、延べ勤務人員は189人（一日平均3.2人）である。友引については、火葬需要はないが、汚物炉（動物炉）は稼働し、施設修繕、各種研修等を行っている。

平成２９年度の火葬件数は９８８件であり、前年度（９０５件）に比べて８３件増加している。火葬件数は、平成２０年度に８００件を超え、平成２６年度以降は、毎年９００件を超えている。今後も火葬件数の増加が見込まれる中、引き続き利用需要に応じた運営を実施されたい。

修繕については、斎場火葬炉設備耐火材等修繕（５，１３０，０００円）を高砂市が行い、そのほか２９件の小規模修繕（１，７９８，５２８円）を株式会社五輪が行っている。修繕実施計画は策定しているが、空調エラー、排水管水漏れ、電気系統等の突発的な修繕が多く発生している。斎場は昭和５９年５月の設置以来３４年が経過している建築物であり、施設・設備の老朽化に伴う修繕が今後も多く発生すると思われる。施設全体の改修も含め高砂市担当部と十分協議されたい。

法定点検を含む再委託業務については、おおむね適正に処理されていた。施設管理業務（火葬炉設備、電力設備、自家用発電機、冷暖房設備、自動ドア等）、清掃業務、ごみ収集運搬・廃棄業務、残骨灰処理業務、庭園管理業務、警備業務等について年間計画どおり実施されていた。市内業者への委託契約率は、前年度まではそのほとんどを市外業者１者に委託していたため平成２８年度は１９％であったが、平成２９年度は市内業者との契約を積極的に行った結果５６％と大幅に増加している。今後も可能な限り市内業者への移行を推進されたい。

光熱水費は、５，３８３，５８６円の執行であり、前年度（５，２７１，８５２円）に比べて１１１，７３４円増加している。主に火葬件数の増加によるものであるが、施設全体の経費の削減、省エネには今後も積極的に取り組まされたい。

使用者からの意見・要望については、常設アンケートやアンケートはがきにより、聴取されているが、これらのアンケート結果等を参考に今後も使用者の要望・意見等についての的確に対応されたい。

自主事業については来場者への給茶サービス以外に、利便性の確保、向上を図るため、喫茶、売店の運営及び飲料用の自動販売機を設置している。来場者については家族葬が多くなったことにより減少傾向であるが、快適に待ち時間を過ごせるよう努められたい。

今回の指定管理者選定理由にもあるように火葬炉設備企業の系列会社でもあることから、施設の維持管理、火葬炉及び関連付属設備の維持管理について確実にしっかりと実施され、この斎場の施設改修も含め使用者の要望もとりいれ今以上により良い施設運営をされるよう要望します。